

～～第8782回～～

大谷崩

～R1. 10. 20～

静岡駅前よりマイクロバスにて出発。途中トイレ休憩し大谷崩駐車場へ着く。駐車場の大谷崩を紹介した看板に目を通し出発。枯沢を渡って樹林帯を行き扇の要に出る。頭上にのしかかるような崩壊面を一步一步ジグザグに登る。水飲み場を通過し少し登った所で休けい。ここまですべて疲れてしまった。しかしここからが本番。新窪乗越の鞍部が見える。見通しがきくだけに厳しい登りを覚悟する。急こう配のガレ道はとても歩きにくいので慎重に登る。ツルリンドウが数輪斜面にへばりついて咲いていた。花にも自分自身にもガンバレと応援してしまう。途中道すじが崩れている箇所があった。ようやく新窪乗越に着く。休憩後大谷嶺に向かう尾根伝いの道は大谷崩れの淵から見下ろす所もあり崖の方に目をやると吸い込まれて転落しそうな気持ちになる。しかし赤く色づいて陽に映えた葉やトリカブトのきれいな紫色が心を和ませてくれる。頂上で昼ごはん。幸い風もなく寒くなかった。ただガスがかかっているため視界はゼロ。来た道を下山。帰りも気が抜けない。ガレ道では足元をズルズルさせながら転倒や落石に注意して無事駐車場までもどる。

参加者：11名（静岡南9、静岡西1、藤枝1）

天気：晴れ

地図：梅ヶ島

コースタイム：静岡駅前 635＝大谷崩駐車場 820…扇の要 845…新窪乗越 1045…大谷嶺 1200-30…新窪乗越 1340…扇の要 1455…大谷崩駐車場 1520＝静岡駅前 1700

記録：静岡南支部 M・S